

北海道社会福祉士会 スーパーバイザー プロフィール

ふりがな 氏 名	むらやま ふみひこ 村 山 文 彦
所属支部	道央地区支部
☐ 第1号 認定上級社会福祉士 ☐ 第2号 認定社会福祉士の更新者 ☐ 第3号 認定上級社会福祉士に準じる者 ☒ 第4号（1） 社会福祉士 ☐ 第4号（2） 施設機関等において職員のスーパービジョンを担当している者 ☐ 第4号（3） 教員等でスーパーバイザーとして豊富な経験と実績のある者	

【職務等経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

昭和 61 年～ 北海道難病連相談員（難病患者支援、難病検診、患者運動、患者会活動等）
平成 16 年～ 札幌市東区第 2 地域包括支援センター（センター長）
令和 2 年～ 介護老人福祉施設ら・せれな（施設長）

【職能団体等における活動経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

【日本社会福祉士会】 東日本大震災 災害支援派遣（岩手県山田町）
【北海道社会福祉士会】 基礎研修Ⅱ・Ⅲ 人材育成系研修講師、地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修講師
【北海道】北海道社会福祉審議会 地域福祉支援計画分科会委員

【最終学歴】

道都大学社会福祉学部社会福祉学科 卒業

【資格・特技等】

認定社会福祉士（高齢分野）1 回更新
主任介護支援専門員
日本ファシリテーション協会会員

【ソーシャルワーク実践において大切にしていること】

ソーシャルワーカースイッチの ON/OFF・チームアプローチ・価値観の多様性の尊重
環境因子としてのソーシャルワーカーの視点

【スーパービジョンの経験】 ※直近の経験から記載してください。

スーパーバイザーとして、平成 30 年度～令和 6 年度までに 9 名担当
スーパーバイザーとして、平成 30 年度、令和 6 年度に受講

【スーパーバイザーへの一言】

一緒に学びあう機会と時間を共有しましょう
毎回、互いにエンパワメントを感じられる機会の構築をめざしています。

【条件】

① 活動地域について

・ ・ その他 ()

② 受け入れ可能人数について

2 名 可能

③ その他 (セッション可能曜日、時間帯、バイザーへの連絡方法などの条件について、出来るだけ詳しく記載ください)

平日の業務後か土日の日中帯を希望いたします

ICT（情報通信技術）を活用したスーパービジョンも対応可能です

連絡方法はメールが中心となります

取組実践事例等を題材に、そこに携わる社会福祉士としてのバイザーにフォーカスしてセッションを展開します。(その事例の課題解決に向けた事例検討は行いません)

セッションで題材とする事例について、開催日2～3日前の提出をお願いしています。